2026 年 1 月 22 日

食農資源経済学会
　　会員各位

食農資源経済学会
会長　前田　幸嗣

（概要案内）食農資源経済学会 第 20 回大会及び創立 20 周年記念事業について

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
　平素より本会に対して多大なご支援を賜わり、誠にありがとうございます。
　さて、本会は下記のとおり、2026 年度に第 20 回大会、2027 年度に学会創立 20 周年を記念した事業を実施いたします。皆様方のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

１．記念事業の趣意

　1949 年に創設された九州農業経済学会の伝統と組織を継承・拡充し、2007 年に食農資源経済学会に改名された本会は、2026 年に第 20 回大会を、また 2027 年には学会創立 20 周年を迎える。そこで、本会は以上を記念し、2026 年と 2027 年の 2 年にわたって記念事業を実施する。具体的には、食農資源に関連する地域的課題を関係者とともに解決するという、九州農業経済学会以来の本会としての責務を再確認する。つまり、本記念事業を、九州沖縄各県の農業課題を個人会員及び団体会員間で再確認し、各県の課題解決に会員がいっそう連携してあたる契機としたい。さらには、本記念事業の成果を社会に発信することを通じて、本会のプレゼンスの向上及び会員数の拡充など、本会のいっそうの発展につなげたい。

２．第 20 回大会記念事業

（１）事業内容
　　記念シンポジウムの開催
（２）記念シンポジウムのテーマ
　　九州沖縄農業の課題と産学連携
（３）記念シンポジウムの登壇者
　　座　長：辻　一成 副会長・内藤重之 副会長
　　報告者：九州沖縄各県の一般会員から１名ずつ、計８名（座長との兼任・連名可）
　　コメンテーター：九州沖縄各県の団体会員から１名ずつ、計８名
（４）記念シンポジウムにおける報告の内容

九州沖縄各県における農業課題を概観したうえで、当該県の団体会員（コメンテーター）が指定する１つの課題トピックに対して、解決策（試案）を具体的に提案する。

（５）記念シンポジウムにおけるコメントの内容

当該県の課題トピックに対する報告者の解決策（試案）について、実行性の観点から評価する。

（６）日程

１）シンポジウム・懇親会：2026 年 9 月 5 日（土）

２）研究発表会：2026 年 9 月 6 日（日）

（７）会場

１）シンポジウム・研究発表会

TKP エルガーラホール

福岡市中央区天神 1-4-2 エルガーラホール 7F

https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/elgala-hall/

２）懇親会

TKP ガーデンシティ PREMIUM スカイホール

福岡市中央区天神 1-4-1 西日本新聞会館 6F

https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-tenjin-skyhall/

（８）その他

記念シンポジウムで共有された課題は次年度以降、各県で開催されるシンポジウムにおいて議論を深める予定である。

３．学会創立 20 周年記念事業

（１）事業内容

学会創立 20 周年記念書籍（(仮）食農資源経済学会編『九州沖縄農業の課題と産学連携－学会創立 20 周年を記念して－』）の刊行

（２）記念書籍の内容

第 20 回大会記念シンポジウムの成果を収録する。具体的には、記念シンポジウムにおける討論を踏まえたうえで、各県の報告とコメントの内容を融合させ、報告者とコメンテーターの連名で各県１章ずつとりまとめる。

（３）記念書籍の刊行時期

記念シンポジウムの終了後、１年以内に刊行する予定である。

（以上）